

土砂災害警戒情報の発表基準変更について

兵庫県土木部砂防課

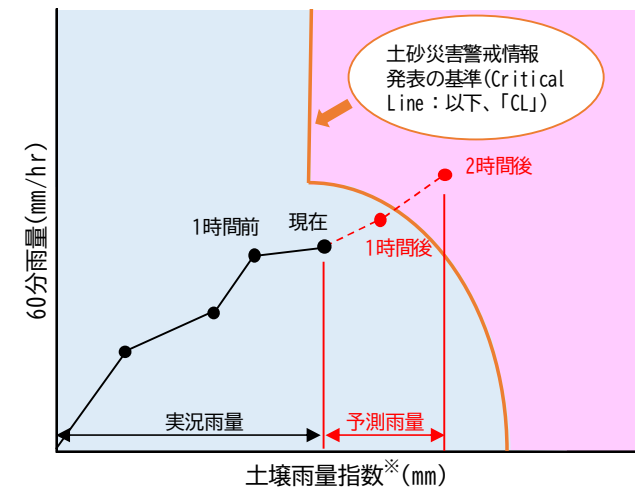
基準の変更について

平成26年8月豪雨等の近年の大雨や土砂災害実績を反映させる等、精度向上のため、現基準[平成25年3月～]の見直し検討を実施(令和4年11月～令和6年3月)

<土砂災害警戒情報とは>

- 土砂災害の危険度が高まった際に、県と気象台が共同で発表する市町単位の防災情報⇒(警戒レベル4相当)
- 市町長が避難指示を発令する際の判断や住民の自主避難の参考

防災気象情報		レベル	市町の対応	住民の行動	状況
大雨特別警報(土砂災害) (気象庁)		5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!	災害発生 又は切迫
~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難 >~~~~					
土砂災害警戒情報 (県・気象庁共同)		4	避難指示	危険な場所から 全員避難	災害の おそれ高い
大雨警報(土砂災害) (気象庁)		3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難	災害の おそれあり
大雨注意報 (気象庁)		2	-	自らの避難行動を 確認する	気象状況 悪化
早期注意情報 (気象庁)		1	-	災害への心構えを 高める	今後気象状況 悪化のおそれ

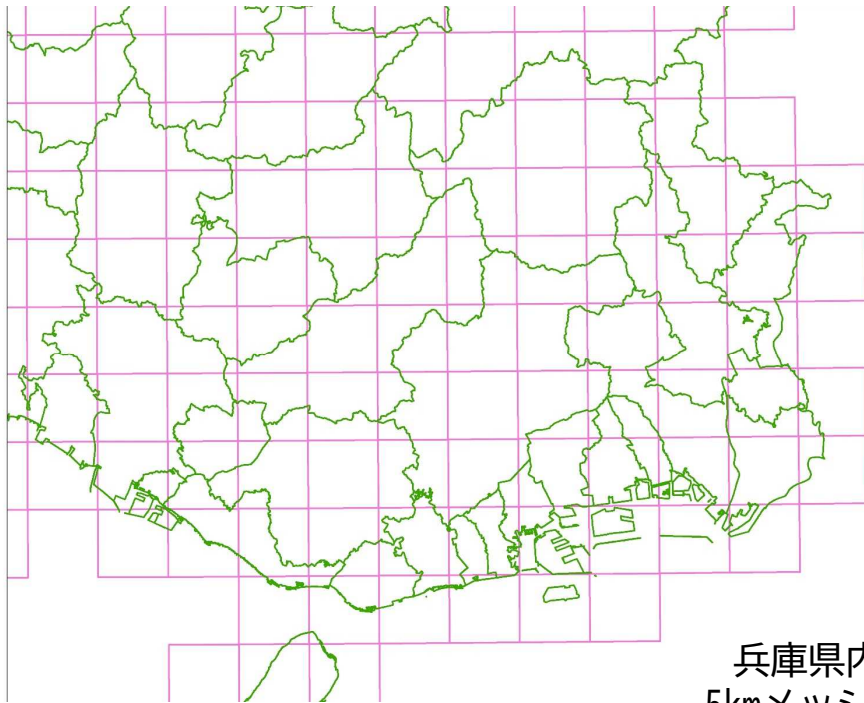


※降った雨が土壌中にどれだけ溜まっているかを指数化したもの

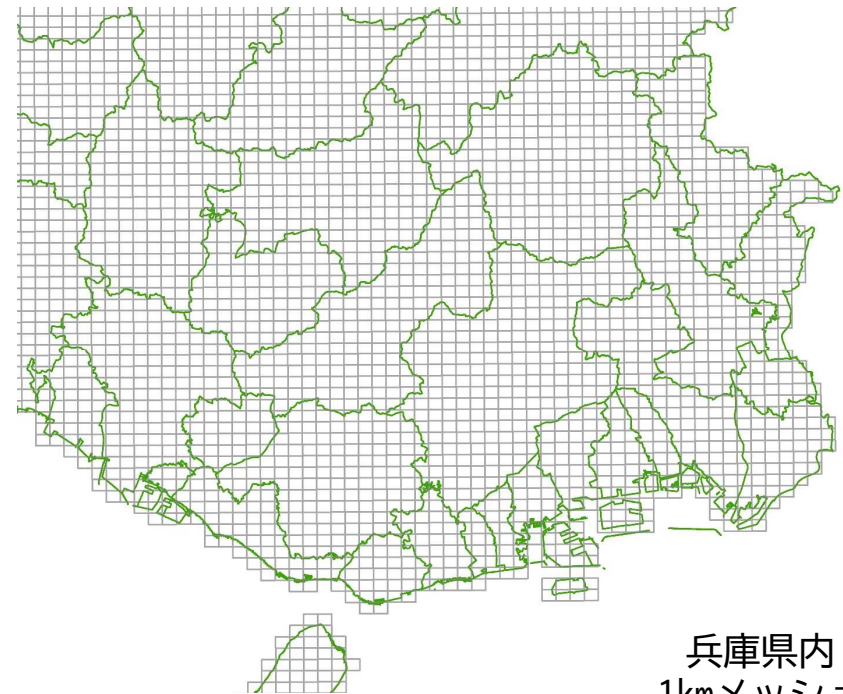
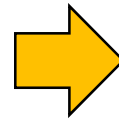
## 見直しのポイント①

5kmメッシュで設定している基準を1kmメッシュでの基準に細分化

現行の5kmメッシュ単位から1kmメッシュ単位への細分化で、地域特性（降雨・土砂災害実績）をより細かく反映した基準となる



兵庫県内  
5kmメッシュ  
352個

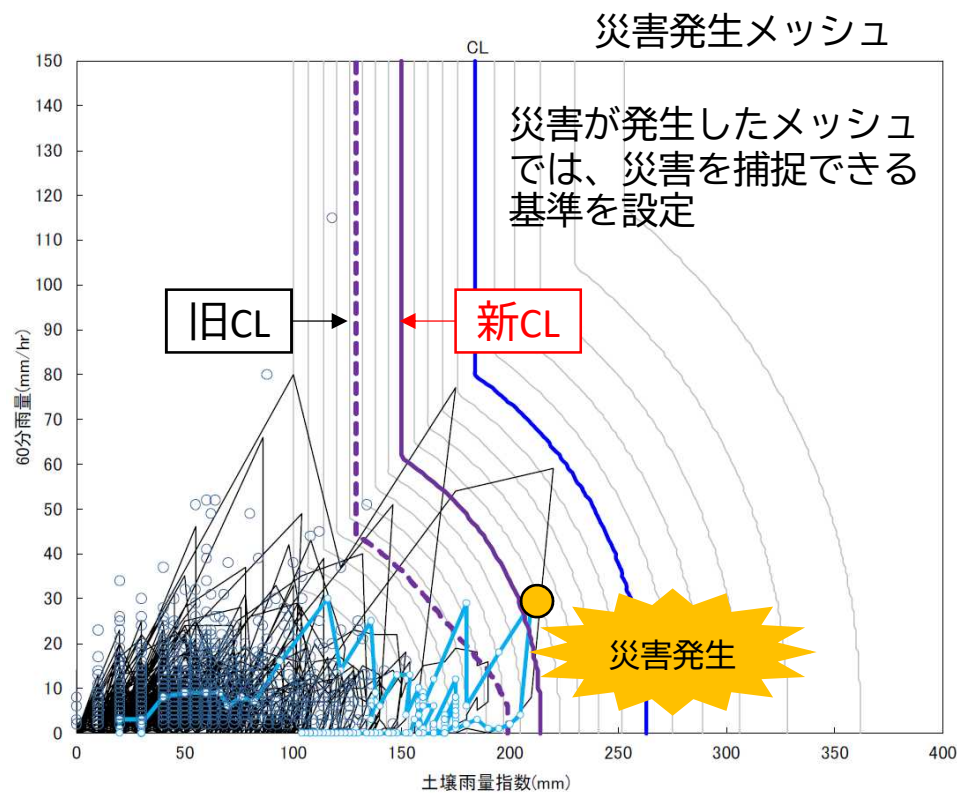
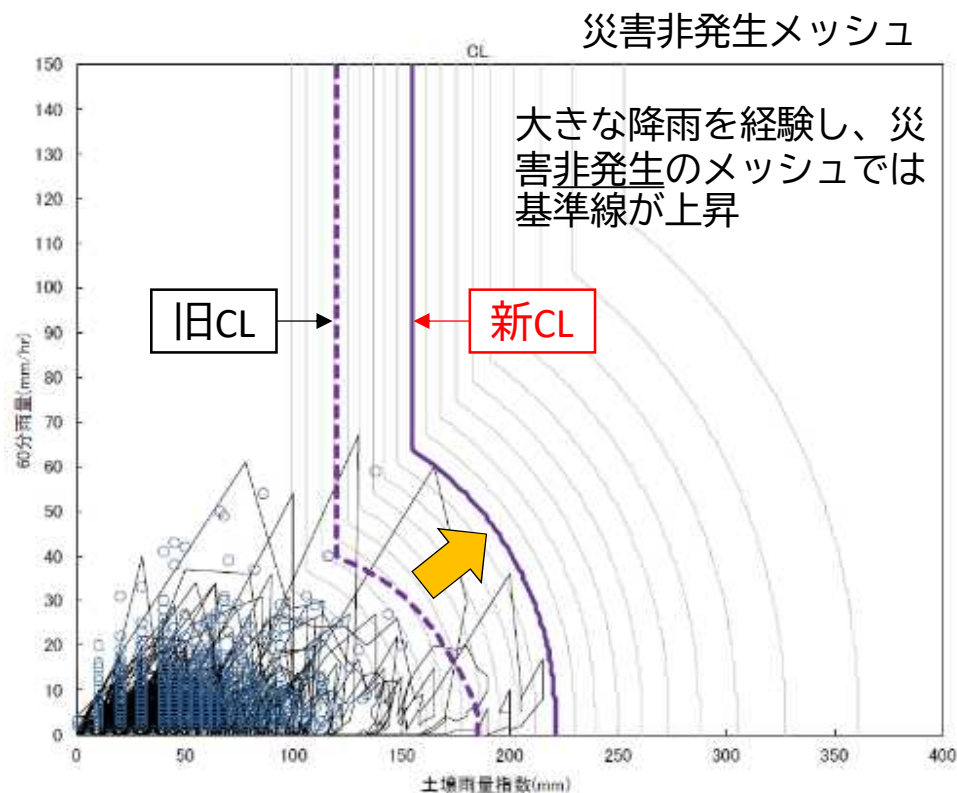


兵庫県内  
1kmメッシュ  
8,269個

## 見直しのポイント②

### 最新の降雨データや土砂災害実績に基づいたCLに見直し

- 現行の基準は平成23年9月までの降雨データ  
⇒新基準は令和3年12月までの降雨データを反映
- 平成26年8月豪雨、平成30年7月豪雨等の近年の土砂災害発生実績を基準に反映





## 見直しのポイント③ 除外メッシュの設定

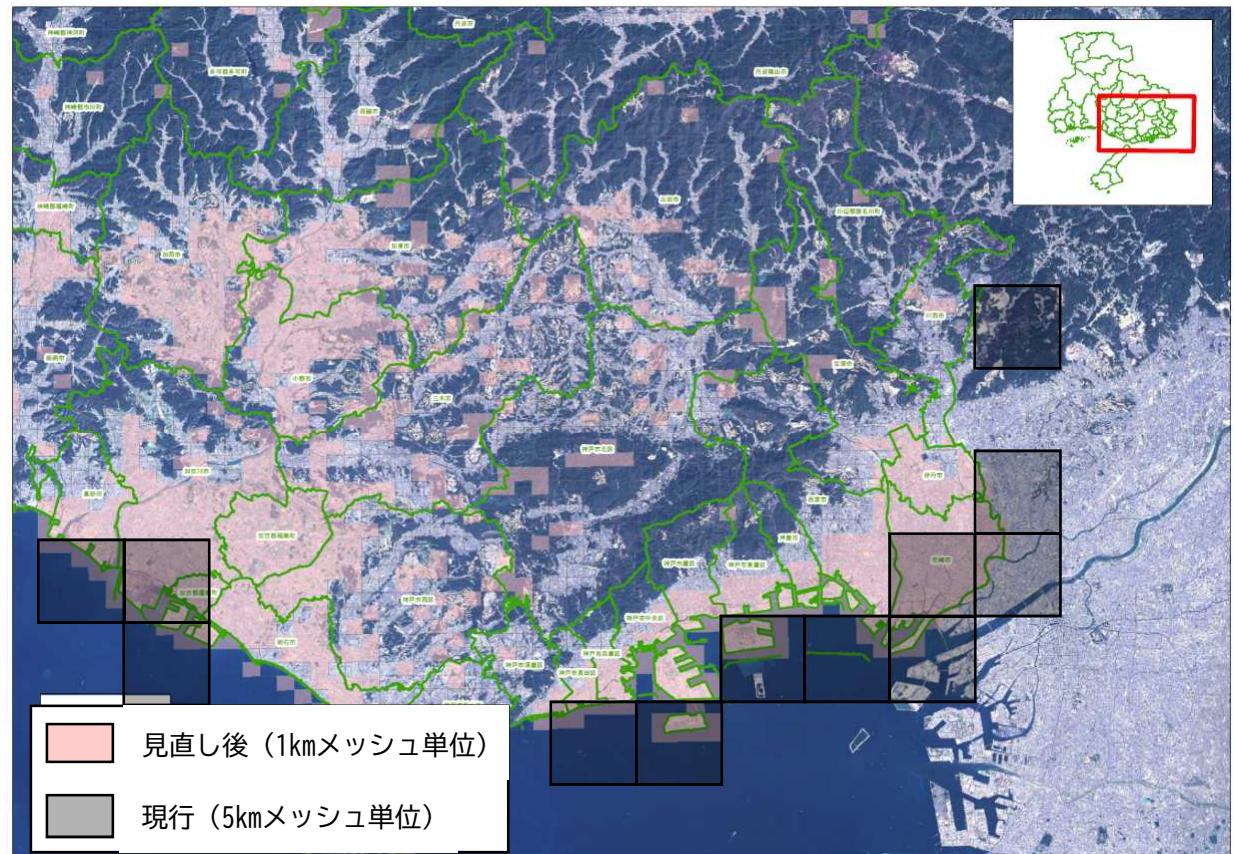
山間部等の人家のないエリアや、都市部等の土砂災害のおそれがないエリアについて、1kmメッシュ単位で除外メッシュを設定

⇒除外メッシュには土砂災害警戒情報基準を設定しない（判定の対象外）

### <除外メッシュの定義>

下記のいずれも含まない1kmメッシュ

- ・ Y区域（急傾斜地の崩壊）
- ・ Y区域（土石流）の上流域
- ・ 山間部の国道、県道
- ・ 山間部の観光資源
- ・ 山間部の避難所



## まとめ

- ・見直しの結果、土砂災害警戒情報の精度向上が図られ、よりの確な危険度情報の提供が可能になります
- ・土砂災害警戒情報が発表された時、崖の近くや谷の出口など土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、速やかな避難をお願いします

### <参考>

- ・H25～R3の9年間で土砂災害警戒情報を延べ220回発表
  - ・見直しにより捕捉率※は100%を維持したまま発表回数は136回に減少（38%減）
- ※土砂災害が発生したときに、土砂災害警戒情報を発表していた事例の割合

